



第14回まちづくり推進会議

日時：令和6年7月2日（火）19:00～20:45 場所：公民館多目的ホール
出席者：委員16名 事務局5名 説明員2名

会議の主な内容

1. 会長挨拶 2. 説明・協議事項

(1) 全体会議

- ・事務局から前回までの振り返りを説明。今回の会議では住宅事情の説明を行い、その後の進め方は、残りの会議日数や町の予算計上時期を考慮し、グループ討議のしやすいテーマに絞って話し合いをしたいことを説明した。
- ・事務局及び説明員から今回会議のテーマ（訓子府町の住宅施策について）とその内容について口頭により資料説明を行った。
- ・前々回の「よそ者・若者・ばか者が地域を変える」で討議した内容が練り足りないと感じており、移住定住のテーマとする前に、何のために誰のためにという目的をはっきりして進めてほしいという意見があり、今回のグループワークで意見をもらいたいと説明。

(2) グループワーク

- ・2グループに分かれてワーキンググループを実施。その後、各グループから出た意見を事務局から発表した。

<ワーキンググループで出された主な意見は以下の通りです>

◆Aグループ【住宅建設や賃貸住宅について】（桜井係長が進行担当）

1. 個人の新築建設や民間賃貸住宅建設に対する支援について

- ①空き家の増加や物価高騰等の社会情勢を考慮し、新築よりも中古住宅購入に対する支援の必要性が考えられる。
- ②新築、中古住宅購入ともに制限をつけて、町の支援の必要性が考えられる。それによって個人の選択肢が増え、町としてもどの部分に対する支援を強化するか判断につながり、町の施策にもつながると考えられる。
- ③町内の空き地に関する情報が少ないという声を耳にしたことがある。土地や住宅に関する情報を町で集約し、希望者へ情報提供できれば、町内へ居住しやすくなるのではないかと。

2. 賃貸住宅について

- ①町内への居住希望者より、住宅不足という声が聞かれる。例として、空き家となっている町職員住宅や教職員住宅を一般の方に貸し出してはどうか。（住宅施設課より、空き家となっている職員住宅を農家の短期従業員向けに、期間限定で貸し出している現状について説明した）
- ②空き家バンクに登録されている住宅の中には改修が必要な住宅もあり、すぐに住めない場合もある。町で買い取ってリフォームしたり、エアコン等必要な家電を設置したり、すぐに住める状態に整備した上で、賃貸として利用することもひとつの方法ではないかと。
- ③すぐに賃貸で入居したい方には、空き家をリフォームして賃貸として募集することは良いが、購入となると自分好みにリフォームを行いたいと、良い案とは言い切れない。

3. 自由記載（今後の課題として協議したい内容等）会議中に出た内容も含め

- ①中古住宅の中には、室内の片付けができていないため、空き家バンクに登録できない住宅もあることが予測される。空き家バンクの有効活用を推進するためにも、片付けに対する補助の必要性が考えられる。
- ②町内には使われていない空き地が多いため、有効活用できると良いのではないかと。



◆Bグループ【空き家バンクについて】(杉山主事が進行担当)

1. 空き家バンクに係る制度内容について

- ①元々常盤にある持ち家に住んでいたが、後継者が帰ってきたこともあり、事業をしっかりとやっていくため、町内会に引っ越してきた。現在、常盤の住宅の倉庫は使用しているが、住宅は使用しておらず空き家になっている状態であり、夏季はアートタウン事業で短期間の貸出を行う等、なるべく空き家とならないよう心掛けているが、冬季は除雪等の負担もあるため、水道も止めて使用不可としている。空き家バンクで賃貸、売却だけでなく、空き家活用という目的で、夏季期間のみ等、短期間の賃貸ができればと考えている。
- ②親が施設に入所し、持ち家が空き家となった場合に、家の中に残っている物品の片づけや処分、権利の登記に対する補助があってもよいのではないかと。
- ③空き家を所有している方に空き家バンク制度を広報・周知するためにも、周知資料を固定資産税の通知時に合わせて折り込むだけでなく、転出の手続きの際等、対面での説明も必要だと思う。また、要介護認定を受けた方を対象に今後の施設の入所等の説明と併せて保健師から周知してみてもどうか。
- ④家を所有されている高齢な方は、家に思い入れがあり、自身が家を離れるからと言って空き家バンク等に登録し、家を手放すことについては抵抗を感じる方が多いことが、登録件数が伸びない要因であると思う。
- ⑤実践会地域に空き家があれば、地域住民で現状確認をして利用可能な場合は、片づけや清掃をし、会館等のコミュニティ活動に活用できないかと考える。
- ⑥教員で家族と一緒に異動されてきた方が、教職員住宅だと手狭で、住居の確保に苦慮していると聞いたこともあるので、空き家バンクで3～5年程度の短期間で賃貸できる空き家があればよいと思う。また、ペットを連れて転勤してきた方が、公営住宅には入居することができないため、そのような方の選択肢としても短期間で賃貸できる空き家があれば良いと思う。

2. さかさまバンク制度(仮称)について

- ①実践会地域に一人で住まわれている方は、除雪等の負担があるため、市街地に引っ越したいと考えている人もいると思うので、そういう方を対象に空き家を進められるのではと思う。

3. 住まいのエンディングノートの配布について

- ①「終活」という言葉も出てきているが、まだ世の中にあまり浸透していないのが現状であり、いきなりこのノートを配布されても拒否反応を示す人もいるのではないかと。
- ②配布する対象者も慎重に選ぶ必要があり、また、配布するにしても、ページ数が多く、読むのが大変なため、ページ数を減らしたり、文字を大きくしたり、少し簡素化する必要があると思う。

(3) 全体会議

- ・テーマを少し絞ったことにより、考えや意見を多く出していただけたと感じた。
- ・住宅問題はどこに焦点を置くかが重要。今回いただいた意見も含め、様々な意見が出てくることと思うが、実現できるの何点かだけになると思う。
- ・中古物件の空き家がたくさんあるので、住宅内の片付け等を補助することで登録を増やすことや、空き家をリフォームして賃貸できる住宅にする等、空き家を空き家のままにせず流通させていく方法を検討する必要があると感じた。
- ・まちづくり推進会議は今年度残り2回の会議があるため、町に対して提案するかどうかも含め、会長及び副会長と話し合いをしながら考えていきたいと思う。

まちづくり推進会議の資料は、役場庁舎(正面玄関横)および図書館に設置しています
「まちづくり情報コーナー」で閲覧できます。

